



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ネクストジェン 上場取引所 東
 コード番号 3842 URL <https://www.nextgen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 大西 新二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 齊田 奈緒子 TEL 03-5793-3230
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 1,466 | 10.1 | △163 | — | △167 | — | △164 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 1,331 | 14.7 | △312 | — | △313 | — | △307 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △165百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △311百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | △63.93 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | △148.80 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 3,756 | 1,793 | 47.7 |
| 2020年3月期 | 4,284 | 1,959 | 45.7 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,793百万円 2020年3月期 1,959百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 1、直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2、2021年3月期の期末配当予想に関しましては、未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----------------|---------------|------------|---------|------------|---------|-----------------|---------|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,800 ～4,500 | △2.0 ～16.0 | 60 ～200 | — ～— | 54 ～194 | — ～— | 38 ～136 | — ～— | 14.75 ～52.78 |

（注） 1、直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2、2020年3月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 2,576,800株 | 2020年3月期 | 2,576,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 166株 | 2020年3月期 | 164株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 2,576,635株 | 2020年3月期2Q | 2,068,589株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

第2四半期決算補足説明資料は、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) キャッシュ・フローの状況 | 4 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、前年度売上貢献が大きかった他社ライセンス販売の減少に加え子会社においてVOICEMARKの販売減少がありましたが、大手通信事業者向けにSBC製品の販売案件の獲得や自社ソフトウェアに係る構築支援案件の増加により売上高は、1,466,650千円（前年同四半期比10.1%の増加）となりました。

損益面につきましては、売上高において収益性の高い自社ソフトウェア販売の占める割合が大幅に増えたこと並びに製品開発や企画部門を中心とした外注費等の削減による固定費圧縮に努めたことにより、売上総利益は554,359千円（前年同四半期比29.4%の増加）となりました。その結果、子会社増加に伴う人件費の増額を吸収したため、営業損失は、163,869千円（前年同四半期は、312,151千円の営業損失）、経常損失は、167,253千円（前年同四半期は、313,017千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は164,728千円（前年同四半期は307,816千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、それぞれ赤字幅は大きく減少しております。

受注面につきましては、保守サポートにおいて順調に保守案件が積み上がりましたが、通信システム・ソリューションにおいて、前年同四半期の大手通信事業者向け大型案件の反動減が大きく影響し、受注残高は871,235千円（前年同四半期比42.5%の減少）となりました。

| | | |
|-------------------------|-------------|----------------------|
| 売上高 | 1,466,650千円 | （前年同四半期比、10.1%の増加） |
| 売上総利益 | 554,359千円 | （前年同四半期比、29.4%の増加） |
| 営業損失（△） | △163,869千円 | （前年同四半期は、△312,151千円） |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損失（△） | △164,728千円 | （前年同四半期は、△307,816千円） |
| 受注残高 | 871,235千円 | （前年同四半期比、42.5%の減少） |

当第2四半期連結累計期間におけるソリューション・サービス分野別の概況は、以下のとおりであります。

[通信システム・ソリューション]

通信事業者の大規模ネットワークで利用される通信システムのライセンス販売、SI、周辺アプリケーション、及びネットワークセキュリティ・コンサルティングサービスを提供。

- ・大手通信工事会社からMVNOネットワーク設備更改に関するコンサルティング業務を受注し提供完了。
- ・大手通信系システム会社と前期から取り組んでいる、IP-PBX対応通話録音ソフトウェア「LA-6000」と音声認識技術を連携させたサービスについてコンタクトセンターからの新規受注がありライセンスを納品。
- ・大手情報通信サービス会社からMVNO基盤の移設・リニューアルに伴う、通信サービス制御機能のライセンス提供、基盤強化・運用支援業務を受注し継続中。
- ・大手通信事業者に対してソフトウェアSBC「NX-B5000」の機能追加による更改案件の受注や、在宅勤務増加に伴いトラフィックが増加した通信事業者に対して「NX-B5000」の設備増強のためライセンス追加を受注し納品。
- ・通信事業者が提供する一般法人向けサービスを利用する金融機関ユーザーに対してIP-PBX「NX-C1000」のライセンスを受注し納品。
- ・PSTNマイグレーションに伴い、事業者間IP相互接続で必要となるソフトウェアSBC「NX-B5000」を大手通信事業者より新規受注し納品。
- ・大手通信事業者へ前期までに導入したコンタクトセンターシステムに対する更改対応案件を受注し実施完了。
- ・協和エクシオ株式会社との協業によるローカル5Gソリューションの技術検討、検証及び導入に至るコンサルティングサービスの提供を開始し、提案活動を推進。

以上の結果、通信システム・ソリューションの当第2四半期連結累計期間の売上高は、565,114千円（前年同四半期比59.1%の増加）となりました。

〔エンタープライズ・ソリューション〕

通信事業者以外の企業や官公庁に向けて、通信システムのライセンス販売、SI、周辺アプリケーション、及びクラウド/BPOサービスを提供。

- ・前期に引き続き通話録音システムの販売を推進し、官公庁、複数の金融機関、保険会社等に大型案件として採用され納品完了。
- ・コンタクトセンターで進んでいるオムニチャネル化の動向に対応する音声認識AI連携ソリューションの機能追加案件を受注し開発中。
- ・通信事業者による法人顧客向けクラウドPBXサービスを展開する動きの活発化、及び新型コロナウイルス感染症拡大の懸念により一般企業のリモートワークが加速しており、地域電力系通信事業者が提供するクラウド電話サービスの利用増加に伴うWeb電話帳サービス、通話録音システム、端末の新規導入や追加ライセンスを大量受注。
- ・無線機と連携可能なスマートフォン対応のIP-PTT (Push to Talk) ソリューションについて、既存利用顧客のアプリケーション拡充に伴う機能追加ライセンス案件を受注し導入完了。
- ・世界最大級のテレビショッピング・通販会社のコールセンターよりソフトウェアSBC「NX-B5000 for Enterprise」の大型案件を受注し納品完了。
- ・大手生命保険会社よりDP信号（回転式ダイヤル電話、黒電話）にてダイヤルされた番号をPB信号に変換するDP/PB変換装置の大型案件を受注し納品完了。
- ・音声認識の月額BPOサービス「U³ COGNI」や子会社がクラウドで提供しているコミュニケーションアプリはストック型ビジネスとして継続提供中。
- ・ソフトウェアSBC「NX-B5000 for Enterprise」が、ソフトバンク株式会社のIP電話サービス「おとく光電話」との接続認定を取得。通信事業者が提供するIP電話サービスへの対応を拡大したことにより、PSTNマイグレーションに伴うVoIPゲートウェイ需要に従来より幅広く対応する。

以上の結果、エンタープライズ・ソリューションの当第2四半期連結累計期間の売上高は、407,774千円（前年同四半期比16.7%の減少）となりました。

〔保守サポート・サービス〕

通信事業者及びエンタープライズ向けに全国24時間・365日対応の保守サポート業務を提供。

- ・保守契約更改時の条件見直しに伴い、前期より一部の保守案件が減額。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の懸念による一般企業のリモートワークが進み、通信トラフィックの増加から一部の保守案件が増額。

以上の結果、保守サポート・サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高は、493,761千円（前年同四半期比1.4%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,756,801千円となり、前連結会計年度と比べ527,245千円の減少となりました。増加の主な要因は、仕掛品が107,336千円、流動資産「その他」に含まれる前払費用が26,149千円、投資その他の資産「その他」に含まれる長期前払費用が25,465千円増加したことによるものであり、減少の主な要因は、現金及び預金が240,896千円、ソフトウェア資産が99,589千円（新規開発及び取得等により75,783千円増加、減価償却により175,372千円減少）、前連結会計年度末に計上された売上債権等の回収により売掛金が345,921千円が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の総額は、1,963,546千円となり、前連結会計年度と比べ361,462千円の減少となりました。増加の主な要因は、短期借入金が408,600千円、受注損失引当金が11,400千円、流動負債「その他」に含まれる前受金が139,306千円増加したことによるものであります。減少の要因は、買掛金が667,795千円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が231,201千円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が19,936千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は1,793,255千円となり、前連結会計年度と比べ165,782千円の減少となりました。減少の要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が164,728千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて240,896千円減少し、906,261千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、340,191千円（前年同四半期は、412,121千円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費194,167千円、のれん償却額9,710千円、受注損失引当金の増加11,400千円、製品保証引当金の増加6,019千円、売上債権の減少額345,921千円、「その他」に含まれる前受金の増加額139,306千円等の増加要因に対して、税金等調整前四半期純損失167,253千円、たな卸資産の増加額132,549千円、仕入債務の減少額667,795千円、「その他」に含まれる前払費用の増加額51,439千円、未払又は未収消費税等の減少額17,541千円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、77,644千円（前年同四半期は、386,620千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,776千円、無形固定資産の取得による支出75,783千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、176,939千円（前年同四半期は、24,926千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入れによる収入408,600千円の増加要因に対して、長期借入金の返済による支出231,201千円等の減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月20日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、市場及び顧客動向を慎重に見極めながら計画の変更又は見直しを実施しておりますが、市場環境の急変により計画している受注状況が変化する可能性や顧客スケジュールにより案件の検収時期が変動し数値が大きく上下する可能性があるため、詳細な数値を算出することが困難であると考えております。したがって、通期のみレンジ形式による開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,147,158 | 906,261 |
| 売掛金 | 1,621,193 | 1,275,272 |
| 製品 | 57,910 | 80,694 |
| 仕掛品 | 21,951 | 129,287 |
| 原材料及び貯蔵品 | 41,659 | 44,089 |
| その他 | 93,071 | 121,147 |
| 貸倒引当金 | △56 | △64 |
| 流動資産合計 | 2,982,888 | 2,556,688 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 75,145 | 60,415 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 133,551 | 123,840 |
| ソフトウェア | 537,021 | 730,094 |
| ソフトウェア仮勘定 | 393,932 | 101,271 |
| その他 | 0 | 0 |
| 無形固定資産合計 | 1,064,505 | 955,206 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 54,414 | 52,899 |
| 差入保証金 | 73,013 | 66,538 |
| 繰延税金資産 | 32,735 | 38,244 |
| その他 | 2,620 | 28,050 |
| 貸倒引当金 | △1,276 | △1,241 |
| 投資その他の資産合計 | 161,506 | 184,491 |
| 固定資産合計 | 1,301,157 | 1,200,113 |
| 資産合計 | 4,284,046 | 3,756,801 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 919,456 | 251,660 |
| 短期借入金 | 115,000 | 523,600 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 430,195 | 367,189 |
| 未払法人税等 | 16,315 | 11,642 |
| 製品保証引当金 | — | 6,019 |
| 受注損失引当金 | — | 11,400 |
| その他 | 215,142 | 334,381 |
| 流動負債合計 | 1,696,109 | 1,505,892 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 589,722 | 421,526 |
| 資産除去債務 | 33,537 | 31,066 |
| 繰延税金負債 | 3,186 | 2,966 |
| その他 | 2,453 | 2,094 |
| 固定負債合計 | 628,898 | 457,653 |
| 負債合計 | 2,325,008 | 1,963,546 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 971,142 | 971,142 |
| 資本剰余金 | 925,273 | 925,273 |
| 利益剰余金 | 62,841 | △101,886 |
| 自己株式 | △285 | △289 |
| 株主資本合計 | 1,958,971 | 1,794,240 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 65 | △985 |
| その他の包括利益累計額合計 | 65 | △985 |
| 純資産合計 | 1,959,037 | 1,793,255 |
| 負債純資産合計 | 4,284,046 | 3,756,801 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,331,937 | 1,466,650 |
| 売上原価 | 903,664 | 912,291 |
| 売上総利益 | 428,272 | 554,359 |
| 販売費及び一般管理費 | 740,423 | 718,228 |
| 営業損失(△) | △312,151 | △163,869 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 6 |
| 為替差益 | 1,577 | 1,040 |
| 未払配当金除斥益 | 128 | 83 |
| 助成金収入 | — | 570 |
| 雑収入 | 39 | 105 |
| 営業外収益合計 | 1,751 | 1,805 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,618 | 3,225 |
| 事務所移転費用 | — | 1,964 |
| 営業外費用合計 | 2,618 | 5,189 |
| 経常損失(△) | △313,017 | △167,253 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 460 | — |
| 特別利益合計 | 460 | — |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △312,557 | △167,253 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,649 | 2,739 |
| 法人税等調整額 | △3,475 | △5,264 |
| 法人税等合計 | △825 | △2,525 |
| 四半期純損失(△) | △311,731 | △164,728 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △3,915 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △307,816 | △164,728 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失（△） | △311,731 | △164,728 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △249 | △1,051 |
| 四半期包括利益 | △311,981 | △165,779 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △308,065 | △165,779 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3,915 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △312,557 | △167,253 |
| 減価償却費 | 214,472 | 194,167 |
| のれん償却額 | 5,458 | 9,710 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △36 | △27 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | — | 6,019 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 300 | 11,400 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △6 |
| 支払利息 | 2,618 | 3,225 |
| 新株予約権戻入益 | △460 | — |
| 事務所移転費用 | — | 1,964 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 694,384 | 345,921 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △138,415 | △132,549 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 46,370 | △667,795 |
| その他 | △78,886 | 63,269 |
| 小計 | 433,241 | △331,954 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 6 |
| 利息の支払額 | △2,681 | △3,404 |
| 移転費用の支払額 | — | △1,692 |
| 法人税等の支払額 | △18,445 | △3,145 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 412,121 | △340,191 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,420 | △1,776 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △322,159 | △75,783 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △53,039 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | — | △85 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △386,620 | △77,644 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 100,000 | 408,600 |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △235,169 | △231,201 |
| 株式の発行による収入 | 16,393 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △54 | △3 |
| 配当金の支払額 | △6,242 | △96 |
| その他 | — | △358 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 24,926 | 176,939 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 50,427 | △240,896 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 949,368 | 1,147,158 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 999,795 | 906,261 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。